

様式1 【生活単元学習・小1、小3、小5・「博物館をひらこう」】①

育成を目指す資質・能力

〈本時のねらい〉

サツマイモを栽培した体験を基に、自分の伝えたいことを考え、自分の思いを文字や言葉で表現することができる。

ICT活用のポイント

自分の思いや考えはあるものの、それをうまく表現しにくい児童が、これまでの取組を振り返ったり、思考をまとめたりする活動においてICT端末を活用し、主体的な授業参加を図る。

【つかむ】

サツマイモの畑の手入れに行き、単元の課題を確認する。

単元の課題

3組で育てたサツマイモを友だちに紹介しよう。

【追究する】

活動の様子を振り返り、何をどのように紹介したいか考える。

【まとめる】

自分たちが考えた方法で、実際に友だちの前で発表(紹介)する。

事例の概要

【生活単元学習について】

○「生活単元学習」の指導では、児童の学習活動は実際の生活上の目標や課題に沿って指導目標や指導内容を組織することが大切である。

【事例におけるICT活用の場面①】

○教師が提示する単元計画を示したテキストを見て、単元のゴールを確認する。

○これまでの活動の様子を写真や動画を観て振り返り、本時の活動内容を確認する。

【事例におけるICT活用の場面②】

○イラストと文字で複数提示したテキストを参考にして、発表(紹介)の方法を考える。

【生活単元学習・小1、小3、小5・「博物館をひらこう」】②

【事例におけるICT活用の場面①】

単元のゴールである発表(紹介)に向けて、これまでの取組やこれからの予定について確認する。単元全体の進捗を見童と確認した上で、本時の活動内容を確認する。



教師の端末の画面を拡大提示

○実際に児童が活動している写真や動画を提示することで、児童からの感想が出やすくなっていた。

○本時にすることが明確になっていたため、めあて「サツマイモやさんの紹介の仕方を考えよう」を、児童に伝えやすくなっていた。

【事例におけるICT活用の場面②】

児童の興味関心の高いICT端末について、学習場面だけではなく休み時間にも自由に操作できる時間を設定してきたことで、児童にとって親しみやすい教材となっている。



発表方法を選択

○表現したいことはあっても、周囲に分かりやすいように伝えることに困難さのある児童が、スライドを基に教師と話をしたり、友だちの意見を聞いたりすることができた。

○発表の仕方について、自分でスライドに丸を付けて教師に提出し、考えを学級で共有することができた。



友だちの様子を参考にしながら活動



振り返りの場面で活用したスライド

【活用した機能等】

プレゼンテーションソフト
カメラ機能、音声入力